

# 静岡県議会レポート

県庁内 控室 静岡市葵区追手町9-6 TEL054-221-3510

浜松市中央区入野町9860-1 TEL053-440-7100

浜松市中央区 田口 章



## 財政健全化と地域活性化 両立の年に

新たな年、県議となって15年目を迎えます。これまでの経験を活かしつつ、初心を忘れず、心機一転がんばって参ります。

昨年は県財政が「危機宣言レベル」との状況が報告されました。「そんなにひどかったのか」と驚かれた方も多かったと思います。これまで私は何度も懸念を伝え、警鐘を鳴らしてきましたが、結果的に予算を議決し、決算を認定してきた議員の一人として責任を感じています。

財政健全化を進めるためには、まず行財政改革が必要です。しかし、県民の幸せづくりにはそれだけでは不十分です。県の持つ資源を最大限活かした地域活性化との両立が欠かせません。

人口減少社会の中ではありますが、康友知事のトップダウンに頼るだけでなく、二元代表の一翼として、みなさまの声を聴き、議員として積極的な提言に努めてまいります。

## 2026年元気な地域づくりのカギはみるスポーツ！

昨年9月の本会議質問で、私は「スポーツ産業による地域活性化」を取り上げました。

「みるスポーツ」は世界的に注目されています。人口減少下にあっても元気な地域を創っていくためにスポーツは大きな力となります。

今年は世界中で大きなスポーツイベントが行われます。全くの私見ですが、今年注目しているスポーツイベントを一部ご紹介します(日程は変更になる場合がありますのでその際はご了承ください)。

4年に一度の冬季オリンピック・パラリンピックやサッカーワールドカップは間違いなく全世界の注目を集めます。またメジャーリーグや日本のプロ野球選手の活躍が期待されるWBCも早く見たいものです。

アジア競技大会・パラ競技大会は、この秋、愛知県を中心に静岡県内でも行われます。浜松市のToBiOでは水泳(アーティスティックスイミング)、エコパスタジアムではサッカー、

2/6-22	ミラノ・コルティナ冬季オリンピック
3/5-17	ワールド・ベースボール・クラシック
3/6-15	ミラノ・コルティナ冬季パラリンピック
5/24-31	ツアー・オブ・ジャパン(国際サイクルロードレース) (5/29 富士山ステージ)
6/11-7/19	FIFA ワールドカップ
7/3-5	鈴鹿 8 時間耐久ロードレース(個人的な趣味です)
9/19-10/4	第 20 回アジア競技大会
10/18-24	第 5 回アジアパラ競技大会

伊豆ベロドロームでは自転車(トラック)が開催されます。個人的には日進市で予定されているクリケットに関心があります。インドの国民的スポーツと言われるクリケットの本格的な試合を、ぜひ一度見に行きたいと思っています。

静岡県では昨年12月、プロスポーツチームや競技団体、大学、企業、金融機関、自治体などを結ぶネットワーク「静岡SOIP(スポーツ・オープン・イノベーション・プラットフォーム)」を設立しました。この組織を起爆剤に、2026年、スポーツによる元気な地域づくりを進めてまいります。

# 12月定例会の話題から

## ○補正予算の中心は物価高・賃上げ対策

補正予算は一般会計約245億円＋企業会計約6億円＝約251億円。ポイントは大きく3つあり、①国補正に呼応した物価高対策・賃上げなどへの対応等約170億円、②職員人件費の増約96億円、③台風15号被災地対応約2億円です。また来年度への事業繰越による約▲17億円の減額などがあります。物価高対策等の概要は右のQRコードからご覧ください。



【補正予算の概要】

職員人件費は人事委員会勧告に基づき給与改定3.01%とボーナス0.05ヵ月引き上げ等を行います。県財政が厳しい中、給与改定を実施するのか？との声もありますが、経済成長につなげるべく社会全体で賃上げの流れがある中、職員の人財確保・育成には必要と考えます。ただ民間企業並みに生産性向上に努めることも重要なため、今後もチェックしていきます。

## ○厳しい財政状況への対応

昨年10月時点で、来年度当初予算編成に当たり財源不足640億円と言われていましたが、526億円まで圧縮したと報告がありました。詳細は右のQRコードからご覧ください。年末、知事公舎の売却で約7億円を確保し、草薙球場のネーミングライツも実施するとのことでした。引き続き2月の当初予算案発表まで歳入確保や事業の見直しを続けるということです。



【R8当初予算  
部局調整案の概要】



【財政状況について質問(総務委員会)】

12月定例会では、各種使用料・手数料の見直しも議決しました。財政悪化の中、県民のみなさんにご負担をお願いすることになりますが、ご理解いただければと思います。

具体的には、県立美術館(常設展)、地球環境史ミュージアム、富士山世界遺産センターの入館料をこれまで大人300円だったものを500円に引き上げます。施設の維持管理経費が増える中、施設使用料の引き上げも行います。その他各種手続きの手数料も見直します(一部引き下げもあります)。

こうした中、給与改定は実施しますが、特別職の報酬削減とボーナスの引き上げ分の凍結を行います。削減効果額は約5,000万円ですが、これは財源ねん出の手法ではなく、県民の皆さんに負担をお願いすることや、今後、補助金の見直しなどをせざるを得ないことから、執行部として「姿勢を示す」ということです。

私たち議員は、ボーナスの引き上げは特別職同様凍結しましたが、報酬はさまざま意見があり、12月定例会では削減しませんでした。会派としては財政状況をさらに分析し、引き続き責任のあり方について検討していく考えです。

県議会では本会議質問をインターネット動画(録画)で配信しています。田口のこれまでの質問の様子は右のQRコードから見るができます。ぜひご覧になってください。



FMHaro! 76.1MHz

## KENGI DE Night (県議でナイト)

月・木の夜、FM Haroで県政のホットな話題をお届けしています。担当するのは県西部の会派メンバー8人。私は毎月第4月曜日19:30-20:00を担当しています。お聴きくださいね。



## 創ろう!元気な浜松&静岡県

田口 章 は持ち前のフットワークで、元気いっぱい活動しています。日常の活動は、ホームページやブログでも報告しています。インターネットがご利用できる方はぜひご覧ください。



田口 章 で 検 索

